

中国支部 プロジェクトマネージャー 増岡 洋

【ポイント】～支援策をタイムリーに活用して、事業化への道を切り開く～

支援は「中小企業総合展」の出会いに始まり、様々な支援策を活用するなどストーリー性のある展開となった。当社の開発したアンダーカット成形ユニットは、複雑な形状の射出成形品を簡単に抜くことのできるユニークな装置として評価が高まりつつあったが、中小機構の支援策により事業化のスピードは加速した。「販路開拓コーディネート事業」では大手企業2社の導入が決定、「企業等OB人材派遣事業」では樹脂成形品のニーズ確認と量産工場選定の助言、「専門家継続派遣事業」では計画、組織、人づくり支援、製造委託先は当支部紹介により専門家継続派遣で支援中の企業に決定、この連携は「連携体構築支援事業」に採択された。

企業概要

- ▶ 企業名：株式会社テクノクラーツ
- ▶ 業種：派遣、成形ユニット開発販売
- ▶ 本社所在地：広島市南区的場町1-5-5
- ▶ 資本金：20百万円
- ▶ 設立：昭和55年7月
- ▶ 売上高：1,131百万円
- ▶ 従業員数：156名



代表取締役 反本正典社長

当社が開発したアンダーカット成形ユニットは、射出成形におけるアンダーカット形状（プラスチック製品等の射出成形品を金型から取り出すときに支障となる凹凸部）を簡単に抜き出す装置である。複雑な形状の樹脂成形品を低コスト、高精度、短納期で生産できることから評価は高い。近年、自動車、家電、携帯電話等の工業品は、デザインが多様化し機能の高度化も著しく、製品には多くの射出成形品が使われており形状の自由度拡大が求められている。しかし既存の方法では加工難度が高くかつ加工工数が多いため、関連業界から新たな装置が求められていた。反本社長は、自動車部品設計やシステム開発の技術者派遣を主業務とする企業の創業者であるが、自社製品の事業化が長年の夢で

あった。社員と設計に取り組んでいたある日、「この設計図面では型が抜けないから変更してもならない」という声を耳にした。よく聞くと「アンダーの角度がきついので」という。それにピンとくるものがあり、「この機構なら抜けるのでは」と簡単な図を描いたことが特許取得に結びついた。なかなか抜けないアンダーカット成形品が面白いように抜けることから「すっぽん」と名付けられた。この装置の新規性・優位性から「第20回中小企業優秀新技術・新製品賞」（りそな中小振興財団・日刊工業新聞社）、「全国ニュービジネス協議会優秀賞」（ニュービジネス協議会）等を受賞した。



支援課題の設定とプロジェクトマネージャーの視点



増岡 洋 プロジェクトマネージャー

支援課題 ①新事業（アンダーカット成形ユニット）のテイクオフの支援。具体的には量産委

託企業の発掘、大手企業の販路開拓支援、事業推進を支える組織・人材づくり。②事業環境の変化に対応する中期経営計画策定と既存事業を含めた管理体制づくり。

プロジェクトマネージャーの視点 アンダーカット成形ユニットは樹脂成形の難題解決の極めつけ商品でマーケットは広い。ただし課題は多い。当社はトップと若手技術者のみの組織であることから、今後の事業展開を考えると組織運営、マネジメントの強化、さらに第二創業期にふさわしい明確なビジョンと中期経営計画の策定が必要である。

支援内容と支援成果

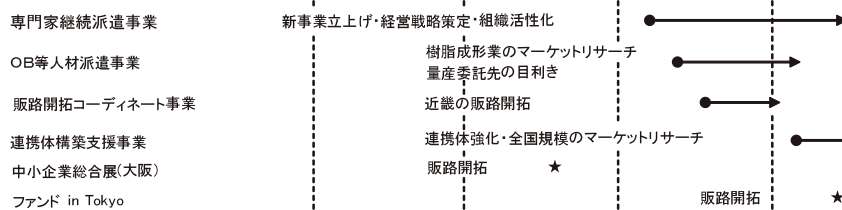
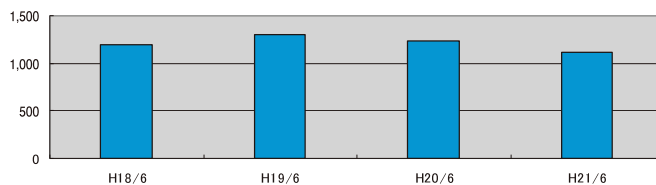
事業の進捗にそって、中小機構等の支援制度をタイミングよく活用した（図表参照）。新事業の最も大きな課題は販路開拓である。「販路開拓コーディネート事業」（近畿支部）により大手企業を中心に35社訪問、大手電機・電子部品メーカー2社に納入が決まったほか試作品を提供しテストが続いている企業も数多い。大手企業に採用されたことで信用度と社内のモチベーションも一気に高まった。「企業等OB人材派遣事業」も効果的に活用した。当社は設計・販売に特化し生産は委託しており、量産工場選定の「目利き」として機械加工の専門家にお願

いた。またこの装置がユーザーにとってどのようなメリットがあるのか確認のため、二人目のOB人材を派遣した。量産を委託する企業は最終的に当支部「専門家継続派遣事業」による支援中の企業に決まった。両社社長とも中小機構の支援先であることから、安心して取引ができると評価されている。この連携は「＜新連携＞連携体構築支援事業」に採択された。事業領域の拡大に伴い、相応しい組織と管理者、適材の配置と評価制度、目指すべき将来像が必要であるが「専門家継続派遣事業」による支援が効果的であった。当社は若手技術者が多く、この支援プロジェクトを通して将来を支える幹部人材が育ちつつあることも大きな成果である。

経営者のことば

平成19年自社製品の特許取得、商品化には成功したものの、サービス業の弊社は「販路」と「製造委託先」の確保に窮していましたところ、中国支部様のご支援により製造委託先が決まり同社とは、連携体構築支援事業に採択され、さらに専門家派遣等多くの支援をいただきました。また近畿支部様の「販路開拓コーディネート事業」による支援で関西に多くの販路を獲得できました。ご支援の成果を最大限に活かして、更なる事業発展を遂げて行く所存です。

売上高の推移(百万円)



支援メニュー 支援テーマ・支援内容